



第8回日常診療経験交流会 分科会
2021年7月11日

出会い、動き、そして未来を変える
～穏やかなエンディングを～

東大阪プロジェクト



医療法人綾正会 かわベクリニック
院長 川邊正和
看護師 川邊綾香



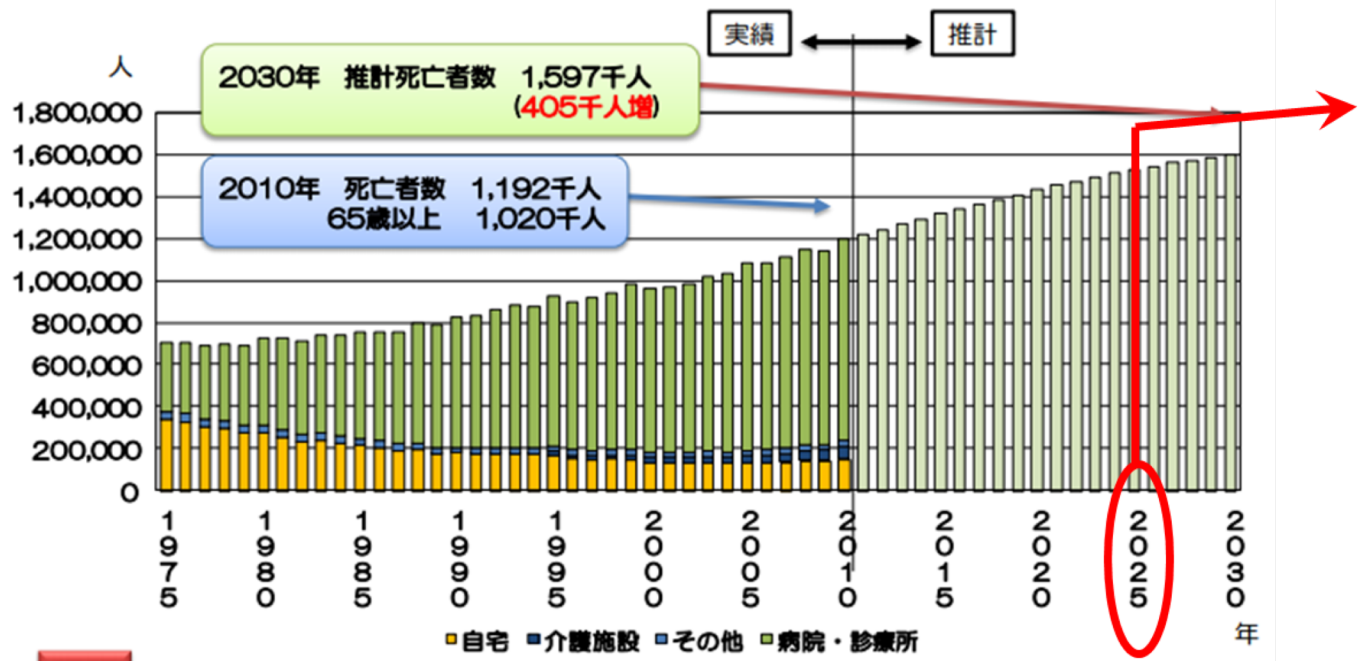
1. 日本の地域医療の現状





多死時代がやってくる

死亡場所別、死亡者数の年次推移と将来推計



課題

2030年までに約40万人死亡者数が増加すると見込まれるが、看取り先の確保が困難

【資料】
2010年(平成22年)までの実績は厚生労働省「人口動態統計」
2011年(平成23年)以降の推計は国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2006年度版)」から推定

※介護施設は老健、老人ホーム 5

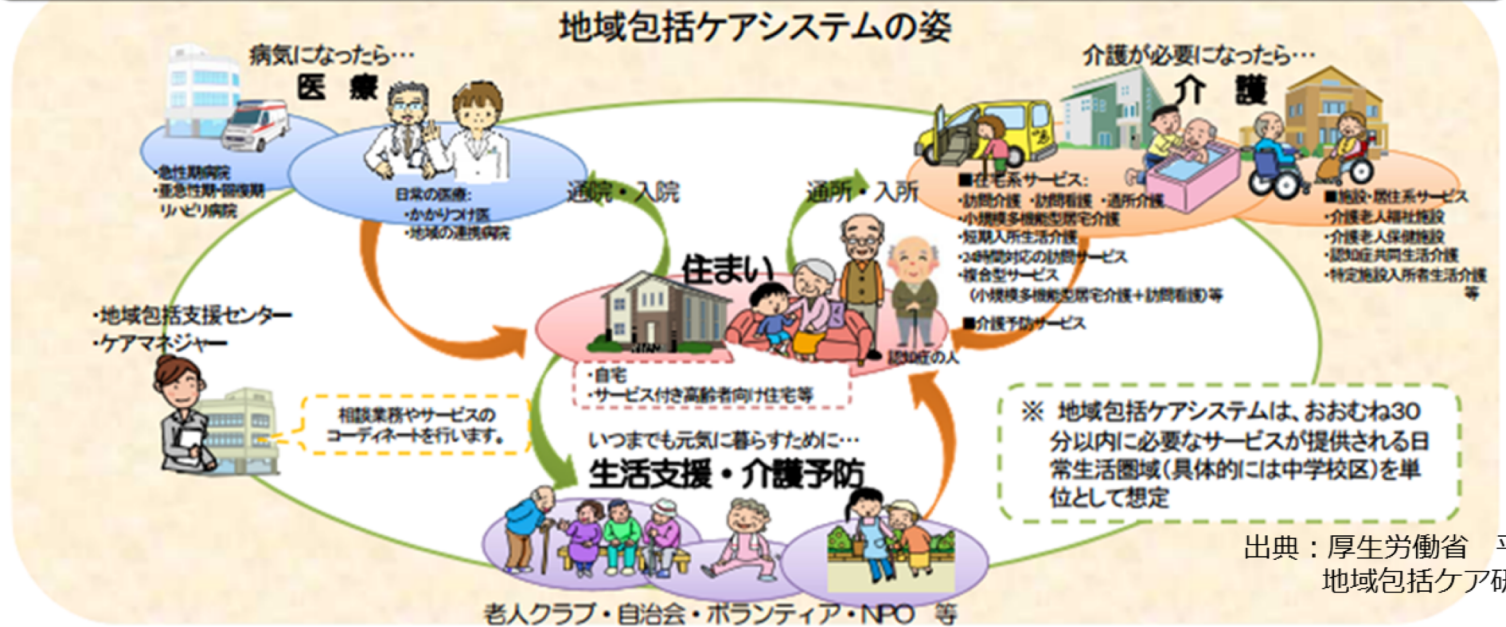
出典：厚生労働省 平成24年
医療保険・介護保険改定時資料



地域包括ケアシステム

人生の最後まで

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。



出典：厚生労働省 平成25年3月
地域包括ケア研究会報告書



地域包括ケアシステム

重度な要介護状態となっても
「住み慣れた地域」で
「自分らしい」暮らしを
「人生の最後まで」続けることを実現



住み慣れた地域で
いきいきと！

地域で

人生の最終段階

(エンドオブライフ) をケア



真の地域包括ケアシステムを目指して

出会うことで人が動き出し
ともに未来を変える
～穏やかなエンディングを～

なったら…
護



- 施設・居住系サービス
- ・介護老人福祉施設
- ・介護老人保健施設
- ・認知症共同生活介護
- ・特定施設入所者生活介護等

介護+訪問看護)等

いつまでも元気に暮らすために…
生活支援・介護予防



老人クラブ・自治会・ボランティア・NPO 等

※ 地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域(具体的には中学校区)を単位として想定

相談業務やサービス
コーディネートを
行

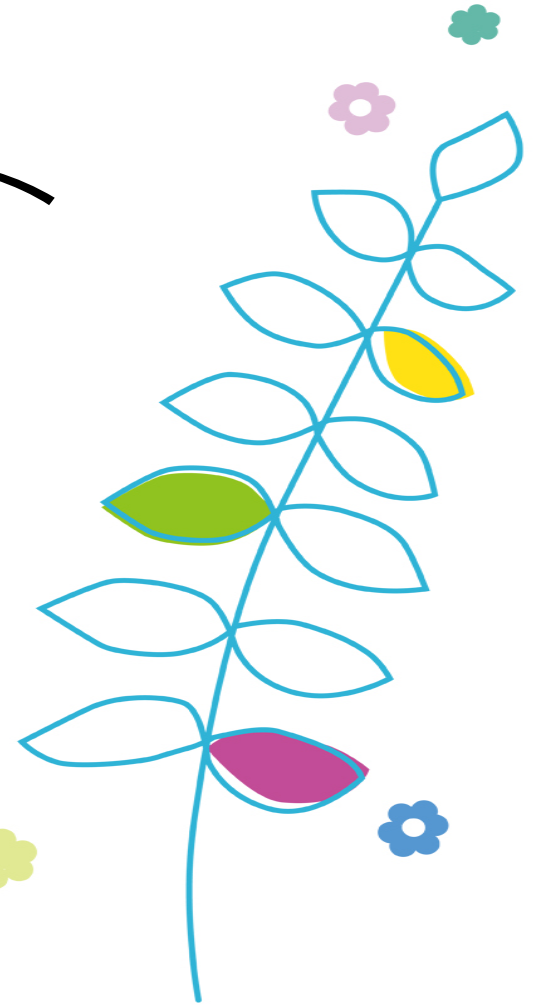

法律職





2. 東大阪プロジェクト

出会うことで人が動き出し
ともに未来を変える
～穏やかなエンディングを～





東大阪プロジェクト立ち上げ

ひとつのクリニックで出来る事は限られます。そこで目指したのが、地域包括ケアシステムを充実させることです。

患者を中心に医療、介護の両面を把握できる**看護師を主体とした**フラットな在宅緩和チームを地域で作る。

その輪は医療・介護職に限定せず、**多職種**、つまり文字通りひとつでも多くの職種が関わるシステムの構築を目指しています。



3つの軸をもとに活動

その実現のために、

以下の3つを軸に活動を行っています。

- 1 エンドオブライフ・ケア研修
- 2 アドバンス・ケア・プランニング研修
(縁起でもない話をしよう会)
- 3 いのちの授業

今、まさに必要な世代のために

これから必要
ないしは
ひとつ上の世代
を介護する世代

次世代（子どもたち）



クレド（信条）

しかし、これもクリニック単体では何もできません。
これらの活動を通して、

「出会うことで人が動き出し、共に未来を変える
～穏やかなエンディングみんなまで～」

という世界観に共感してもらえる仲間を増やしています。
人が集う場所や人が集う機会を作り、共通の目的に繋がる問
いを立て、そこで出会った人同士が共感のもとに動き出し、
解決に向かうことを目標とし、日々活動を続けています。

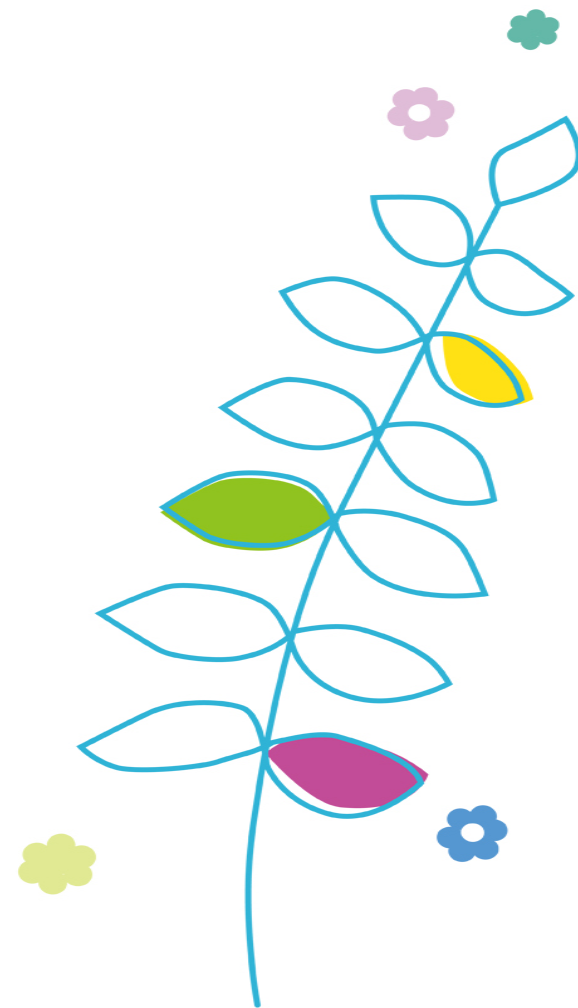


3. 今まで、これからの活動





4. 一般化への道





取り組み

取組 1



取組 2

かわべクリニックの
講演


生ききるを
考えるWS

設計図を作るWS

仲間のネットワーク
提供支援



5. 東大阪プロジェクトの肝





ブランディングとは言葉だけでなく 日々の行動も変えていくこと

東大阪プロジェクトにおいて一番の軸になっている言葉は
「**看護師主体の医療への転換**」。

医師と看護師が対等な立場で関わることを特徴の一つにしたい。

在宅医療では、患者さまとより密接に関わる看護師のほうが、
実は医療サービスの責任者である医師よりも患者さまの状況を把握できる。
看護師の判断でできる領域を増やす医療をめざすことで、患者さまが望む治療を
することができます。

大切なことは、医師が医師の仕事を全う出来ること！
トリアージ・コーディネイトは看護師に任せてみる。



「問い直し」のプロセスを経て思いを形に

私たちのやりたいことは

「看護師中心のフラットなチームによる医療サービス」

そのために、医師会が医師に限定した研修会ではなく、看護師、介護関係者にも門戸を開け、研修会を開催する。

そして、**何よりも学ぶ！**


例えば、看護師に求められる力

(医師への報告、多職種連携の中心になるには…)

⇒ ブログとしても発信しています

かわベクリニック × 東大阪

検索





かわベククリニックが大切にしていること

- ①日々の訪問診療記録
- ②看取りの報告書
- ③グリーンフカード
- ④ご家族さまからのお手紙
- ⑤ブログ



在宅療養支援診療所
医療法人 綾正会 **かわべクリニック**
内科・緩和ケア内科・呼吸器内科

〒577-0843 東大阪市荒川3丁目5番6号 MMビル203
TEL: 06-4309-8119 FAX: 06-4309-8118

求人情報

お問合わせ

ご挨拶
→→→→

プロフィール
→→→→

訪問診療について
→→→→

対象エリア
→→→→

外来診療について
→→→→

よくあるご質問
→→→→

ブログ
→→→→

クリニックブログ

私が考える「看護師としてのプロ意識」

📅 2020.09.30 📌 看護師の力

✍️ 看護師 川邊綾香

こんにちは。看護師の川邊綾香です。

私が看護師になり、今年で15年が経ちました。

この機会に改めて、「看護師のプロ意識とは何か」を考えてみましたので、ここに記したいと思います。



最新の記事

- 私が考える「看護師としてのプロ意識」
- ELC東大阪学習会 特別回(オンライン)を開催しました。
- 【看取りの報告書】AAさまのこと
- 初めが肝心 ～アナムネ聴取～
初回訪問で安心感を提供
- 「相続とは？」司法書士 福村雄一先生の講演の一部をご紹介します。

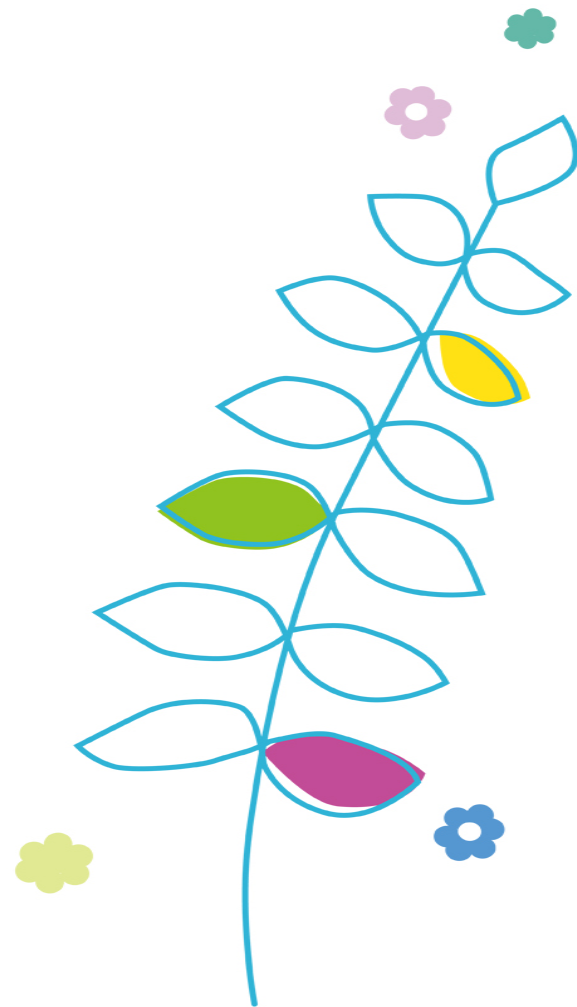
一覧を見る

テーマ

- ELC (3)



6. 仲間を増やす






「軸」ができて「共感者」が集まること

私たちはつい、医療関係者の中でしか伝わらない言葉や表現を使ってしまいがちです。

それをいろいろな職種の方と関わる中で、多くの一般の人に伝わる言葉を獲得することができます。

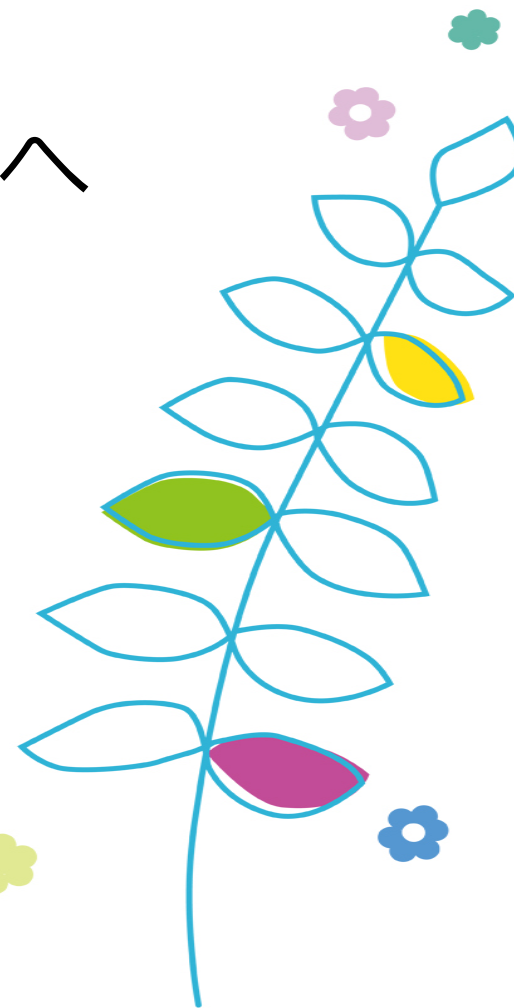
私たちは定期的に講演会や勉強会を開催しているのですが、そこに参加する司法書士や社労士といった医療関係者以外の方からも、賛同のお声をいただくようになりました。



東大阪プロジェクトを大阪へ

出会うことで人が動き出し
ともに未来を変える
～穏やかなエンディングを～

一緒に活動しましょう！



出会うことで人が動き出し、ともに未来を変える
～穏やかなエンディングをみんなで～

第25回布施緩和ケア研修会

緩和ケア 研修会

参加費 **無料**

定員100名

対象:在宅医療に関わる職種であれば
どなたさまでも参加いただけます

テーマ

気持ちのつらさ

日時

2021年7月24日(土)
18:00~19:30

会場

オンライン
(Zoom)

URL・ID・パスコードは参加申込後
(事前登録後)にお知らせいたします

司会進行



布施医師会緩和ケア担当理事
かわべクリニック院長
川邊正和



東大阪プロジェクト代表
福村雄一 (司法書士)

今回は原点に戻り、日本緩和医療学会推奨の
モジュールを用いて「気持ちのつらさ」を
取り上げて講義を行います。また同テーマに
即した症例の事例検討を行います。

講演

つらい気持ちを表現することが
苦手な患者に対してどのように
アプローチしていくか



医療法人慶仁会安田医院
院長 **安田慶明**

東大阪市生まれ。国立滋賀医科大学医学部医学科卒業。
日本腎臓学会腎臓専門医。
多くの併存症を抱える患者さんを全人的に向き合いた
いと考へ、初期研修後腎臓内科へ進む。大阪労災病院、
大阪府立急性期総合医療センター腎臓高血圧内科で勤
務。大学在学中に開業医であった父、安田慶典が大腸
がんで死去。2015年に医療法人慶仁会安田医院を継承
する。高齢化により通院困難となる患者さんに対しても
診療を継続したいという思いから、2019年より在宅
医療にも取り組むようになる。

事例発表

訪問看護ステーションにこ
看護師 **池ノ上ひとみ**

主催：一般社団法人 布施医師会

←緩和ケア



縁起でもない⇒

第9回東大阪プロジェクト

縁起でもない話をしよう会

@東大阪

ケアマネジャー の仕事って!?

話題提供者



介護支援専門員

尾垣徳弘



〈司会進行〉

東大阪プロジェクト代表

福村雄一

かわべクリニック院長

川邊正和

ゲリラ豪雨が、ケアマネジャーになったそもそものきっかけです。大阪市生野区で在宅生活を支援しています。令和元年12月7日にICTを活用した地域ネットワーク『生野区からはじめるネットワークづくり』を個人ではじめ、参加者160名(令和3年6月14日現在)に至る。本人や家族、在宅生活を支援する多職種がみんなであってつながって取り組めるようにしたいと思っているケアマネです。

後半は、話題提供を受けての語り合いの時間になります。5名ほどのグループとなり、自由に縁起でもない話をさせていただきます。

令和3年

8月7日(土)

18:00-19:30



zoom

参加申込

FREE



▼URL▼

▲QRコード▲

<https://88auto.biz/higashiosaka/touroku/entryform12.htm>

出会うことで人が動き出し、ともに未来を変える
～穏やかなエンディングをみんなで～

主催：東大阪プロジェクト





～大切なものを守るために～

繋ぐいのち、穏やかなエンディングみんなまで



ホームページ QRコード



Facebook QRコード

ご清聴ありがとうございました。

